

## 2 動作分析ソフトの紹介

今回紹介するのはスイス製の「ダートフィッシュ」というソフトである。このソフトの特徴は二人の滑りを比較したり（図1）、滑りの残像を残したり（図2）、二人の滑りを重ねて比較したり（図3）できることである。



図1 二人の滑りの比較



図2 ターンの残像



図3 二人の滑りの重ね合わせ

さらにこの他にも時間、角度、距離計測（図4）、動きの軌跡の表示（図5）が可能である。特筆すべきはこのような画像処理が極めて短時間で実施できる点である。従来ではこのような処理を施すためには90分程度要したが、ダートフィッシュを用いると5分程度で作成できる。またビデオ撮影の際には三脚でカメラを固定する必要があったが、このソフトでは手でカメラを保持して被写体の動きに合わせて撮影するパニング撮影の動画でも処理することが可能である。したがって、コーチがこれまで手持ちで撮影していた動画でも分析処理が可能である。

最後にこのように処理した動画を再度テープにダビングしたり、DVDムービーを作成したり、メールの添付ファイルとしてWebで配信することも可能である。

このように、このソフトはこれまで現場のコーチが必要としていた要求をほぼ満たすものであり、実際に世界各国の代表チームやプロチームあるいは放送局で使用されている。日本でも民法の放送局で使用されており、フィギュアスケートのジャンプの解析やスポーツ特番で用いられている。



図4 角度および時間の表示



図5 重量挙げにおけるバーベルの軌跡  
(滑川高校ウエイトリフティング部)